

・資料配布の場所・日時

1. 北海道庁道政記者クラブ
 2. 札幌市政記者クラブ
 3. 北海道建設記者会
 4. (株)建設行政新聞社
 5. (株)日刊建設通信新聞社 新潟支局
 6. 日本工業経済新聞社 新潟支局
 7. (株)日刊建設工業新聞社 北陸総局
 8. (株)建設ジャーナル社
 9. (株)産業新聞社 北信越支局
 10. (株)鉄鋼新聞社 新潟支局
 11. (株)北陸工業新聞社 新潟支局
- 日時：令和8年10月6日（14:00）



国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所
令和8年10月6日

現場が変わる、新技術が新潟に

～「土研 新技術ショーケース2026 in 新潟」を開催～

令和8年10月29日に新潟市において、土木研究所が研究開発した優れた効果を上げる新しい技術を6件紹介します。

また、「多様化する雪害リスクにどう備えるか 科学的知見とICTで築く持続可能な冬季インフラ管理」をテーマに設定し、4名のスペシャリストによるパネルディスカッションも行います。

1. 開催日：令和8年10月29日（木）10:00～16:20
2. 場所：新潟市民プラザ
（新潟県新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 6F）
3. 開催内容：詳細は別紙をご覧ください
4. 参加費：無料
5. 申込期限：令和8年10月26日（月）まで
6. 申込方法：下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願いいたします。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



寒地土木研究所 HP

（イベント情報）

取材いただける場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
当日、直接会場にお越しいただいても結構です。

【問い合わせ先】	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所	寒地技術推進室	室長	ながせ 長瀬 禎
		主任研究員	ふじかわ 藤川 亮	
		電話番号	011-590-4046	

土研 新技術 ショーケース2026 in 新潟

2026年10月29日(木)
10:00 ~ 16:20

新潟市民プラザ

新潟県新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 6F



Contents

内容

パネル ディスカッション

多様化する雪害リスクにどう備えるか
4名のスペシャリストによる
パネルディスカッション

土木研究所による 技術紹介

土木研究所が研究開発した
優れた効果を上げる
新しい技術を紹介します

技術相談タイム

新技術展示会場にて
研究者と双方向の
情報交換を行えます

【申込み方法】

参加ご希望の方、CPD・CPDS認定講習会にお申込みの方は、寒地土木研究所
寒地技術推進室のWEBサイトまたは、QRコードよりお申込みください。

🔍 寒地土木研究所 イベント情報 <https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

参加無料・要事前申込

申込締切：2026年10月26日(月)



主催：国立研究開発法人土木研究所
共催：一般社団法人建設コンサルタンツ協会北陸支部
後援：北陸地方整備局、新潟県、新潟市、一般社団法人日本建設業連合会北陸支部、
一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会
問合せ先：寒地土木研究所寒地技術推進室 TEL. 011-590-4046 (平日9時~16時)

CPD・CPDS認定講習会
JCCA
CPD単位: 4.00
202609140006
建設コンサルタンツ協会
CPD認定プログラム

1116189
形態コード101-1
4unit

『土研 新技術ショーケース』は、土木技術の研究成果を広く紹介し、社会資本整備への貢献と技術の理解・活用促進を目的に、全国主要都市で毎年開催されています。講演やパネル展示、技術相談コーナーなどを通じて、新技術の普及を図っています。

プログラム

10:00	開催挨拶	国立研究開発法人 土木研究所 理事長	藤田 光一
10:15	来賓挨拶	北陸地方整備局 企画部長	越智 英人 氏

技術講演 ①

10:20	既設アンカー緊張力モニタリングシステム（Aki-Mos） 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員	杉本 宏之
10:45	低炭素型セメント結合材を用いたコンクリート構造物の設計・施工ガイドライン iMaRRC 材料資源研究グループ 主任研究員	櫻庭 浩樹
11:10	施工性と安全性に優れた切土のり面の凍上対策（ワンパック断熱ふとんかご） 寒地基礎技術研究グループ 寒地地盤チーム 研究員	御厩敷 公平
11:35	技術相談タイム	

技術講演 ②

13:00	環境DNA調査技術を活用した生物調査の効率化と高度化 流域水環境研究グループ 流域生態チーム 特任研究員	村岡 敬子
13:25	除雪機械オペレータ支援アプリ 寒地機械技術チーム 研究員	山田 充
13:50	AI画像認識を用いた路面雪氷推定システム 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 主任研究員	齊田 光
14:15	技術相談タイム	

パネルディスカッション

14:45	多様化する雪害リスクにどう備えるか 科学的知見とICTで築く持続可能な冬期インフラ管理	
-------	---	--

近年、気候変動により冬期の気象が全国的に極端化し、大雪・吹雪・雪崩による交通障害等、多様な雪害リスクが発生している。一方、人口減少・高齢化等により冬期道路管理のリスク要因も増大している。本パネルでは、科学的知見と新技術（AI・センサー・ICT除雪機械等）の両面から現場課題を整理し、持続可能な冬期インフラ管理の方向性を議論する。

パネリスト

新潟大学 災害・復興科学研究所 環境動態研究部門 教授
国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 所長
寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 研究グループ長
土木研究所 土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター 所長

河島 克久 氏
池田 博明 氏
中島 州一
藤平 大

ファシリテータ

土木研究所 技術推進本部 寒地技術普及推進監

伊東 靖彦

16:15	閉会挨拶	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北陸支部 支部長	吉野 清文
-------	------	----------------------------	-------